

## 岐阜県福祉サービス第三者評価事業評価結果表

① 第三者評価機関名

NPO法人 ナルク岐阜福祉調査センター
---------------------

② 事業者情報

名称：岐阜市立三輪南保育所	種別 保育所
所長：横山幸恵	定員 105名
所在地 岐阜市石原3丁目220-1      TEL 058-229-1253	

総評

評価調査日：平成25年11月25日及び平成25年11月26日

◇特に評価の高い点

岐阜市立三輪南保育所は昭和43年4月に現在地に開所した。木造瓦葺平屋建ての園舎に113名の子どもたちが元気に通所している。園舎は築後47年を経過し、当調査センターが今回の受審に合わせ実施した保護者アンケートからは駐車スペースの問題とともに老朽化改善の要望が多く寄せられているが、「中身で勝負よ」と所長以下全職員が一丸となって保育に取り組む姿勢は、保護者の共感を呼び、アンケートの保護者満足度も高く、地域に密着した着実な歩みを続けている。

保育所は岐阜市の北東部に位置する。東から南にかけて清流長良川に面し、北は関市と山県市に接し、西と北は丘陵樹林地に囲まれ、さらに平坦部には田園風景が広がる自然環境の豊かな地域である。周辺を豊かな自然に囲まれ、隣接する三輪南小学校と共同で借り入れた畑(約3,000㎡)では地域の方々の協力を得、保護者も参加して一人一株を受け持ち、夏野菜やさつま芋を栽培したり、周辺の散歩では近くのバラ園の見学や、神社でのどんぐり拾い、草花摘みを楽しむことができ、子どもたちは自然の中でのびのびと育っている。

少子高齢化が進む中で、三輪南地区の高齢人口(65歳以上)は17.90%(平成24年10月1日現在)と比較的低く、生産人口(15~64歳)65.23%は高い方であり、年少人口(0~14歳)も15.31%と平均より高い。住民意識アンケート(平成18年度実施)では「安心して子どもを生み育てる地域づくり」を「今後望ましいまちづくり」の最上位に掲げている。三輪南保育所は住民のこうした意識に支えられた、環境に恵まれた立地にあると云えよう。

木造平屋建ての園舎は築後の経過年数から、随所に建物の古さを感じる箇所もあるが、1歳児室には畳も敷かれ、廊下もよく清掃されている。玄関、廊下などには、子どもたちの作品、保育所の行事案内などの掲示物もきれいに展示されていた。

園庭には、プール、砂場、ブランコ、滑り台、ジャングルジム、登り棒、雲梯があり、保護者参観の運動会等では手狭であるが、通常子どもたちが遊ぶには十分の広さがあり、異年齢児の交流の場として

活発に遊ぶ姿を見ることができた。安全管理マニュアルは大きな文字で分かりやすく、かつ詳しく記載され、業者による遊具の点検もなされている

理念に基づく、中・長期計画、年度事業計画は「幼児教育の充実」「食育の推進」「地域との連携」を掲げている。「幼児教育の充実」では、公開保育の実施、エピソード研修、ヒヤリハット研修、自己評価による保育の質・専門性の向上が盛られているが、エピソード研修、ヒヤリハット研修の取組みが評価できる。エピソード研修は全職員が参加して月2回実施されている。全職員がエピソードを提出しその中から2例を選び、研修を行う方法を取っている。

ヒヤリハットについては、どんな些細な出来事でも見落としの無いよう、場所、時間等5つの項目を定め、時には1日に4例、5例を書き出している。ヒヤリハットの集計では①時間帯、②体の部位、③子どもの危険行為、④保育士の対応ミスに分類、頻度、回数を表にまとめている。この集計表を基に、ヒヤリハット研修を開き、未満児、以上児に分けた「事故防止チェックリスト表」の加除・修正へとつなげている。

「食育の推進」では、ナス、ピーマン、枝豆、さつまいも、ミニトマト、ニガウリ、きゅうり、かぼちゃ等を子どもたちが栽培し、収穫の喜びを体験させている。これらを給食食材としても使用している。また保護者によるレシピ紹介、調理員による食育教室、ランチデーなどが計画的に実施されており、食育に関して当センターが実施した保護者アンケートでも殆どの保護者が満足と回答している。

「地域との連携」では、英語で遊ぼう(4・5歳児)、絵本の読み聞かせ、紙芝居会などで、第二いぶきとの交流、地域の方、JA、民生委員・児童委員の協力による野菜作り、夏祭り・花餅作りなどで老人クラブとの交流、未就園児子育て支援として「ちびっ子広場」、小学校児童との交流などが行われている。

訪問調査2日間、子どもたちと給食を共にする事ができた。賑やかな給食タイム、早く食べる子、遅い子と様々であったが、食べ残しは無かった。家では食べない子どもも、給食では全部食べてしまうようだ。また異年齢児交流の「お店屋さんごっこ」を見学した。すべて手作りの品物売り手と買い手に分かれて、「いらっしやい、いらっしやい」と元気な掛け声の飛ぶ中、どのお店屋さんもお大繁盛であった。ここまで、盛り上げ指導される保育士職員のご苦労がしのばれた。

◇改善を求められる点

### ③ 第三者評価結果に対する事業者のコメント

第三者評価を受審するにあたり、職員全員で保育や環境、マニュアルなど様々な面から見直しに取り組んできました。こうした取り組みを進める中で、これによしとならないのが保育だと改めて考えさせられました。しかし、全職員が問題点を共通理解し、協力し合って改善に取り組んだことは、職員の意識改革や資質の向上につながり、これからの保育に大きな力となっていくと感じています。また、評価項目に沿って見直しをした時、野菜作り、お話会、英会話教室等いかに地域に支えられた保育所であるかということに改めて気づき、感謝すると共に大切に育んでいかなければと思っています。

これからも、これまで培ってきた地域の方々や関係機関、保護者の方との関係を大切にし、連携をとりながら、地域に根ざした愛される保育所作りに努めていきたいと思ひます。

④ 評価項目の第三者評価結果 (別紙)